

令和3年度年間授業計画

都立第一商業高等学校

教科・科目	家庭・家庭総合	単位数	2	対象学年・組	2年A組～F組
教科書 使用教材	新家庭総合 今を学び未来を描き暮らしをつくる 教育図書	教科担任		近藤明美、小崎里美	

1. 目標

- ①家庭生活の充実向上を図る能力と実践的態度を育てる。
- ②自立に向けて生活課題を主体的に解決できる能力を育成する。
- ③世の中を広く知り、考える力を養う。

2. 学習内容と学習上の留意点

学期	指導内容	具体的な指導目標	学習上の留意点	予定時数
1 学期	人の一生と家族 衣生活	<ul style="list-style-type: none"> ●青年期とはどんな時期か ●家族ってなんだろう ●家族・家庭と法律 ●衣服をつくる/製作実習 ●衣服の機能 	<ul style="list-style-type: none"> ●青年期の特徴を理解しより良い人生を考えさせる ●簡単な衣服のほつれや修理やボタンつけ等自分で行える技術を身につける 	トータルで 単位数 ×12 24時間
2 学期	衣生活 保育	<ul style="list-style-type: none"> ●衣服材料 ●衣服の手入れ ●子どもの成長 ●親の役割、子育てを支える社会の仕組み 	<ul style="list-style-type: none"> ●衣服の素材や管理方法を理解し健康で快適な衣生活を送れるようにする ●子どもについての理解を深め、親の役割について考える 	トータルで 単位数 ×14 28時間
3 学期	高齢者 消費生活 生活設計	<ul style="list-style-type: none"> ●社会はどのように高齢化するのだろうか ●高齢期とは ●高齢期を支える仕組み ●暮らしとお金のかかわり ●自立した消費者 ●生活設計 	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者について理解させ社会的支援を知らせる。 ●人と関わり生きていくことを考える。 ●経済的自立を考える。 	トータルで 単位数 ×9 18時間

配当時間は一応の目安であり若干の増減はある。

3. 授業を受ける上での注意

※生徒が学習する上での学習方法について、具体的に箇条書きで記述する。

- ①授業では、実習や演習など多く取り入れるので安全に配慮し主体的に作業に取り組むこと。
- ②グループ作業では互いに協力し課題を解決すること
- ③1回1回の授業を大切にすること

4. 評価の観点・方法

※評価の観点と方法についてわかりやすく具体的に記述する。

定期考査の成績・提出物・授業への取り組みを総合的に判断し評価を行う。

- 定期考査は3回実施する。
- 提出物は提出日に提出する。
- 配布物の再配布はしない。